

- 高知県長岡郡大豊町岩原地区で、豪雨による土砂災害及び地すべりを想定した避難訓練と、「土砂災害ハザードマップ」等に関する意見交換会を令和6年7月7日に開催しました。
- 避難訓練は、第1回検討会（令和6年3月10日実施）の結果を踏まえて作成した、「岩原地区 土砂災害ハザードマップ」（地区の危険箇所や避難所・避難経路等を記載したもの）に基づいて、避難行動の検証（一次避難・二次避難）を行いました。
- 避難訓練後の検討会では、避難訓練を通じて気づいたこと（課題や改善点）、事前防災行動計画（タイムライン）の記載事項などについて話し合い、グループごとに話し合いの結果を発表し、共有しました。
- 今後は、話し合いで出された意見を踏まえて「岩原地区 土砂災害ハザードマップ」を修正・更新する予定です。

<実施概要>

- 1.実施日**：令和6年7月7日(日) 9:00~12:00
- 2.場 所**：高知県長岡郡大豊町岩原地区
- 3.参加者**：岩原地区の皆さま(21名)、消防団(4名)
大豊町職員(3名)、四国山地砂防事務所(5名)

参加者からの意見<抜粋>

- 防災情報や避難の周知方法として、防災無線だけでなく、サイレンなどがあれば、外にいてもわかると思う。
- 避難所にはトイレ、食糧などの備蓄が必要である。
- 大雨の時地区の上方にある集会所から二次避難するのは実際には難しいと思う（かえって危険な場合がある）。その場に留まるか、早めに他の避難所に避難するかの判断が求められる。
- ハザードマップは、地区内の班ごとに作成して配布するとよいのではないか。公民館や消防屯所などの拠点には地区全体を示した大判図も必要。
- ハザードマップには、居住している家と空き家が分かるようにしてほしい。道路にも色を付けるとわかりやすい。
- タイムラインは避難行動の基準となるように、具体的な雨量などを記載しておいた方がいいと思った。



避難訓練の様子



避難訓練の様子



話し合いの様子



話し合いの結果を発表